

第 56 回北海道中学校スケート大会スピードスケート競技代表者確認資料

質問等がある場合は、地区ごとにまとめ、メール等でお知らせください。

(ko.fukueki.236@gmail.com 全十勝中体連 スピードスケート専門委員長 矢野まで)

1. 競技日程について

(1) 競技進行について

- ア) 競技は、タイムテーブルに従って行い、**進行が早くなっても開始時間を早めることはしない。**
競技が遅れた場合は、随時次の開始時間をアナウンスするが、整氷が終わり次第競技を開始する。
- イ) タイムテーブルについては、上記ア) の通りだが、様々な状況等によっては、レフェリーの判断で変更することもあり得る。その時はアナウンスで連絡をする。

2. 競技に関する事項について

(1) 競技規則について

- ア) 競技は、第 56 回北海道中学校スケート大会（スピードスケート競技）大会要項ならびに日本スケート連盟スピード競技規則に基づいて行う。
- イ) 使用するリンク形式は、400m 標準ダブルトラック C タイプで行う。
- ウ) 1000m 以上はカルテットスタート方式で行い色分けは腕章で行う。

前組	インレーン（白色）	アウトレーン（赤色）
後組	インレーン（黄色）	アウトレーン（青色）

エ) 安全面から必ず手袋を着用することとする。

- オ) 周回遅れの選手は前者との距離を 10m 以上空けなければ失格の対象となる。
また、抜き返したり、途中まで抜き返して追い越したスケーターを妨げる、ペース作りをしているとレフェリーが判断した場合は失格の対象となる。
- カ) 抗議は遅くとも競技直後にレフェリーに対し、文書で提出すること。

(2) クロッシングゾーンについて

クロッシングゾーンにおいては、アウトレーンからインレーンに来る選手に優先権がある。また、カルテット競技においても日本スケート連盟運用マニュアルで『どちらの組であるかに関わらずアウトレーンから来た選手に優先権を与える。』となる。また、クロッシングはゾーン内で行わなければならないことになっています。十分注意して指導すること。

(3) トラックの境界線について

レース時における、ストレートでの内側のラインカットに注意してください。その競技種目において 2 回以上のラインカットは失格の対象となる。

(4) 選手の召集について

- ア) 種目のスタート 15 分前から、スタート地点手前の内側で行う。
- イ) 腕章は選手各自で用意すること。

(5) スケートの脱着について

- ア) 地下道を利用しリンク内側の定められた場所で行うこと。それ以外の場所での脱着はしないこと。
- イ) 服装などの脱着は、各スタート付近内側の脱衣籠を利用すること。

(6) 競技前の氷上アップについて

- ア) 該当種目出場者は、レース直前にコース内側でのアップを認める。
- イ) 指定されたウォーミングアップ時間のみの滑走とする。**

(7) コーチングについて

- ア) スケート靴を履いてのみ、氷上で行っても良い。但し、1選手につき最大1名までとし、コーチングゾーン内で行うこと。レースが終了したら速やかにリンクからあがるか、再度コーチングがある場合は、バックストレート内側フィールド内にイスを用意しておくので、競技進行の妨げにならないよう利用すること。また、コーチングについては日本スケート連盟規則に準じて行うこと。
- イ) コーチングの際には、競技の妨げになる場合があるので拡声器などの機材を使用しないこと。
- ウ) 指導のためにスケートを履いた選手をリンク外側に呼んでのコーチングは禁止とする。

(8) 大会期間中の公式練習について

- ア) 競技開始前のウォーミングアップは指定された時間帯で行なうこと。全面整氷を行い、ブロック設置後アップレーンでの滑走を認める。(アナウンス後)
但し、全面整氷を行っている時には氷上アップを認めない。なお、正面玄関開門は大会期間中7:00とする。
- イ) 競技終了後は、ブロック撤収後40分間を公式練習とする。(1月10日土曜日)

3. プログラムの訂正ならびに出場選手の変更について

- プログラム中の誤字・脱字、選手の棄権・変更については、全て文書により行うこと。プログラム中の誤字等は、9日(金)17:00までとする。
- 棄権届けについては、速やかに記録室に提出すること。

4. 会場に関する事項等について

(1) 選手控え室について

- ア) 選手控え場所
 - ・男子：アネックス(旧管理棟)
 - ・女子：1階更衣室(監督、コーチ、保護者の如何に関わらず男性の入室禁止)

※毛布・敷物は競技終了後に毎日撤去すること。(スタンドや2階ラウンジに毛布は敷けません。)

イ) スタンド、通路や廊下は控え室としての利用は一切行なわないこと。

ウ) 各自のゴミは持ち帰ること。(ゴミ袋持参)

エ) エアロバイク、固定自転車などを持ち込みはできません。施設のものを利用すること。

(4) 表彰式について

表彰は、競技日程表により各種目1位から8位まで、表彰場所(オーバル正面入り口前ロビー)で行う。
入賞選手は、アナウンスに従って速やかに集合すること。

(5) 記録・速報について

- ア) 速報については、帯広スケート連盟の記録システムにより行い、速報サイトにアップする。
- イ) 速報については発行しないが、各地区専門委員長宛に一部リザルトを発行する。

(6) その他の事項について

- ア) 救護については、会場の救護室で応急処置のみを行います。選手の病気、怪我については、各校で責任を持って医療機関へお願いします。
- イ) 帯広の森の全ての敷地内は禁煙です。ご協力ください。
- ウ) 大会要項にも記されているように(財)日本スケート連盟「商業マークについての規程」に基づき、競技中に商業マーク・スポンサー等の表示をしたユニフォーム(スケートワンピース等)の着用を禁止とする。
(JAPAN・アクエリアスロゴマークなど) この件は選手並びに監督、コーチも同様。

(7) 駐車場

- ア) オーバル駐車場は大きいですが、十分ではありません。満車になった場合は他の帯広の森駐車場をご利用ください。但し、アイスアリーナ側の駐車場には車を止めないこと。また、バスはオーバル駐車場専用レーンを利用すること。

(8) 開閉会式について

開閉会式は行なわない。

5. その他

- (1) 中体連全道大会ということを踏まえ、選手の服装、頭髪等中学生としてふさわしくないと判断した場合は競技への参加を認めない。

また、オーバル施設での(中地・走路含む)スマートフォンや携帯音楽プレーヤーなどの電子機器の利用は禁止する。

- (2) 横断幕についても中体連大会ということを踏まえ、あくまでも学校・クラブ単位での出場となりますので、学校・クラブ名もしくは選手名以外のものは掲示を禁止します。

(3) 「北海道中学校体育大会におけるインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等に関わる大会参加等についての基本的な考え方について」を各学校で確認すること。

- ・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の感染が確認された場合は、療養期間が終了するまでの間、当該感染者は大会に参加することができない。また、発熱等の風邪症状がみられる場合についても、症状がなくなるまで自宅で休養すること。
- ・上記感染症による臨時休業中の参加選手については、原則、大会に参加することができない。ただし、新型コロナウイルス感染症に限り、臨時休業中の参加選手のうち無症状である者について、自らの意思で検査キットによる自己検査を行い、連続する2日間とも陰性であった場合については、例外的に参加を認めることを可能とすることができる。

(4) 全国大会申込について

- ア) 1月10日(土) 競技終了まで 2階 審判室1
1月11日(日) 競技終了まで 2階 審判室1

- イ) 1. 全道大会期間中に所属団体の監督(代表者)は、参加選手の種目を確認し、申込手続きを行ってください。(種目一覧表への記入)
2. 全道大会期間中に、大会参加料等を納入してください。
3. 全道大会期間中および終了後、様式1を北海道中体連専門委員長宛てにメールにて、データ送信してください。〈様式1のExcelデータおよび押印済みのスキャンされたPDFデータ〉
コーチの欄も男子チームのコーチは黒、女子チームのコーチは赤で記入ください。コーチナンバーの記入もお願いします。(該当ナンバー①～④)

※様式3は必要な学校のみ提出してください。〈外部指導者(コーチ)確認書押印済みのスキャンされたPDFデータ〉

※様式4は、代理監督を配置する学校のみ必要です。

4. データ提出期限は、令和8年1月12日(月) 12:00までです。各学校およびクラブは期限までに申込専用のメールアドレスへデータを送ってください。

申込専用メールアドレス **zenchu.skate@gmail.com**

5. 選手は、JSFmyPAGEのオンラインエントリーを行ってください。その際、様式1と相違ないようにしてください。(相違があった場合は、様式1が優先されます。)

※全国大会申込受付時に、指定の旅行会社が審判室にありますので、あわせてそちらの受付も行ってください。